

聖仁会だより

2022
1.29
Vol 28

編集 広報担当

医療法人社団聖仁会 白井聖仁会病院

〒270-1426 千葉県白井市笹塚3-25-2

TEL:047-491-3111 FAX:047-491-3128

URL: <http://seijinkai-shiroi.jp/>

E-mail: shiroi@sjkhp.com



// トピックス //

特集：病院長『新築移転5周年を迎えて』

事務長より

看護部長より

新築移転 5 周年を迎えて

当院は昭和 55 年に開設され、白井市で歴史のある病院として地域医療に取り組んでまいりましたが、平成 28 年 12 月 1 日に白井市役所近隣の当地に新築移転いたしました。移転後 5 年の節目を迎えましたが、引き続き地域の中核病院として着実に歩んでおります。これも一重に皆様からの多大なるご支援、お力添えの賜物と紙面を借りて改めて感謝申し上げます。

当院は理念として「患者さま一人ひとりのかけがえのない人生の支えとなれるように人に優しい医療・看護・介護を実践します」を掲げており、その基本姿勢に基づいて地域の皆様に安全で安心の質の高い医療などを提供することを目指しています。

さて、この 5 年間を振り返ってみますと、新病院では医療設備、機器は一新され、診療環境の一層の充実をみております。各診療科が、かかりつけ医としての役割も果たしながら総合的な視点で診療を行っています。地域のクリニック、大学病院な

どとも密な連携をとりながら、切れ目のない地域に根差した医療を目標としています。最近整形外科、消化器内科をはじめとして診療科全体が確実に活性化の方向に進んでいます。また、数年前より印旛地域の救急輪番制に参加し、救急にも積極的に取り組んでいます。

透析医療は、外来透析に加えて療養透析にも対応しています。高齢化などの影響で、療養入院で透析を受けられる患者さんが増えつつあります。また、透析患者さん特有のさまざまな合併症などへの対応がスムーズにできることは、総合病院としてのメリットの一つと言えます。医療介護を一体として取り組むというコンセプトから、特別養護老人ホームが病院と渡り廊下でつながっていますが、この構造的特性はシームレスな診療に少なからず役立っています。4 年前に開棟した緩和病棟では、がん患者さんを最後まで心と体の両面から調和をもって支える診療体制ができ、他の医療機関とも連携を保ちながら運営しています。周辺に緩和ケアを扱う施設が少ないこともあり、地域医療に少なからず貢献できていると考えています。

わが国は、現在世界に類を見ない高齢者社会に突入しています。「住

み慣れた地域で自分らしい生活を」という国の方針を達成すべく、各自治体は団塊の世代が後期高齢者となる令和7年を目安に、地域包括ケアシステムの構築を目指しています。白井市では在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会が発足し、小生も微力ながら委員として携わってきましたが、救急医療情報キットの配布、情報共有化のためのICT導入などさまざまな取り組みが策定、施行されています。その一つとして当院は、数年前より白井市の在宅医療における後方支援病院としての役割も果たしています。

21世紀は、予防医学の時代ともいわれており、当院の健診センターでは人間ドック、各種検診などに積極的に取り組んでおり、適宜さまざまなコースをご用意させていただき、受診者の方々がご利用しやすいように工夫しております。また市民公開講座等を通じて、地域住民の皆様の健康維持、病気の早期発見などにお役に立てればと考えています。

この2年間は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、発熱かぜ外来の設置、入院時のコロナ検査、面会制限などの各種感染対策を講じながら通常診療に対応してきました。現在、感染力が強いとされるオミク

ロン株が広がりを見せていますが、コロナワクチン接種は、2回接種のあと3回目となるブースター接種、さらに小児への接種が予定されています。抗体カクテル療法や内服薬が使用できる環境にもなっています。第6波の様相を示している感染の急拡大が、これらの要因で、どうなるのか見通せませんが、感染の基本対策を徹底し、万全な体制のもとで診療を行っていきたいと思います。

今後とも、地域に密着した病院として医療のみならず、看護・介護なども包括的に提供することを基本に据えて、皆様に一層信頼される病院を目指したいと考えております。職員一同、その目標に向け、全力で取り組んでまいります。皆様には、倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年1月吉日

病院長 布施秀樹



2016年12月に現在の地に新築移転してから早いもので5年が経過、6年目を迎えました。

「患者さま一人ひとりのかけがえのない人生の支えとなれるように人に優しい医療・看護・介護を実践します」を理念に掲げ、地域の中核病院として、病病・病診連携を密にはかり、地域医療に貢献することを目標とし、急性期から療養、緩和ケア、在宅医療などを一体的に提供することを目指しています。

新築移転後では、緩和ケア病棟の開設、病児保育の受け入れ、二次救急輪番制の参加、耳鼻咽喉科の新設など、取り組んで参りました。一昨年になります整形外科で再生医療の一環としてPRP療法が始まり、診療の幅も広がってきました。ホームページに掲載されていますのでご覧ください。診療科も20余りの構成となり、多角的な診療を実践しています。

また、昨年は電子カルテシステムを導入しました。新年度には口腔外科の新規開設を予定し、4月以降、医師の増員もあり診療科の充実を一層はかりたいと考えています。

まもなくコロナワクチン3回目の接種が高齢者より始まります。慌ただしい環境が続きますが、今後も地域の皆様に信頼される病院づくりを目指したいと考えています。

院内のコロナ対策をしっかりと講じ、安全安心で質の高い医療を提供できるよう、職員一同日々努力して参りたいと思います。今後ともご支援、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

事務長 澤田 輝夫

新築移転し、早5年が経ちました。

このような節目を迎えることが出来、ご支援くださった皆様感謝申し上げます。

『患者さま一人ひとりのかけがえのない人生の支えとなれるように、人に優しい医療・看護介護を実践します』を理念に掲げ、地域の皆様に寄り添ったケアの提供をしています。

新病院になってからは緩和ケア病棟の開設や新しい診療科など、ニーズに応えられるよう取り組んで参りました。敷地内には高齢者施設が併設されているため、ご家族様に安心していただける環境づくりもしております。

高齢化が進み老々介護に悩んでいるご家族や、仕事と育児の両立をされている若い世代の方々に身近な存在となれるよう、私たち看護師、介護士は努力を積み重ねております。

ここ2年間では、新型コロナウイルス感染症対策をしながら通常の診療介助をし、患者様に安全な受診と治療をしていただけるよう日々支援しています。

住み慣れたこの土地で生活していただくために、各自治体や近隣医療機関と連携し、地域の皆様のニーズに応え、信頼される病院として更なる努力をして参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

看護部長 山本 順子

医療法人社団聖仁会理念

患者さま一人ひとりのかけがえのない人生の支えとなれるように人に優しい医療・看護・介護を実践します

白井聖仁会病院基本方針

- 1 私たちは、患者さんの意思を尊重し、安心・安全な医療を提供します
- 2 私たちは、健康と生命を守るため日々研鑽に励み、質の高い医療を提供します
- 3 私たちは、地域と密に連携し、地域医療の発展に貢献できる病院を目指します
- 4 私たちは、時代に即し、地域のニーズに応えられる、満足度の高い病院を目指します
- 5 私たちは、心が通い合う、人生に夢と希望を抱ける医療を目指し、最善をつくします

患者さんの権利

- 1 安全で良質な医療を平等に受けることができます
- 2 人としての尊厳が保たれた医療を受けることができます
- 3 病気や治療について十分な説明を受けることができます
- 4 治療方針の決定に参加し、ご自身の意思で医療を選択することができます
- 5 病気あるいはその治療方法などについて、他の医師もしくは他の医療機関の意見を聞くことができます
- 6 病院に対して意見や要望を述べることができます
- 7 プライバシーは保護・尊重されます

患者さんの責務

- 1 適切な医療を受けるため、自らの健康状態等、必要とされる情報をできる限り正確に担当の医療者に伝える責務があります。
- 2 検査や治療について納得して合意したその方針に意欲を持って取り組む責務があります。
- 3 自分自身を含めた全ての患者さんが快適な環境で医療が受けられるよう、病院の規則や病院職員の指示を守る責務があります。
- 4 提供を受けた医療に対し、医療費を支払う責務があります。

白井聖仁会病院の診療実績（2021年10月・11月・12月）

	10月	11月	12月
1日平均外来患者数	431	442	424
1日平均入院患者数	166	172	178
月間新患者数	362	359	343
月間救急患者数	19	13	12

	10月	11月	12月
放射線検査			
一般撮影	2979	2857	2809
マルチスライスCT(造影含む)	423	361	454
1.5T MRI(造影含む)	190	153	188
透視	57	57	48
マンモグラフィ	257	259	210